

教育長室からのお知らせ No. 73(令和3年8月)



教育長 田中 庸寛

暑中お見舞い申し上げます。今年もひとときわ厳しい日差しが照りつけています。市川市民納涼花火大会が昨年に引き続き中止となりましたが、動植物園では、流しカワウソやエミューの水浴びが夏の風物詩となっているようです。体調を万全にして、自分なりの夏の過ごし方を工夫し楽しみたいものです。

教育における ICT 活用については、これまでも、市長と教育長、教育委員とが懇談する総合教育会議で議題として取り上げられ、課題や方向性を共有してきました。また、令和3年6月市川市議会定例会でも多くの質問をいただき、関心と期待の高さがうかがえたところです。7月上旬から、学校ごとに、普通教室等の無線 LAN 化工事、GIGA ネットワーク構築、充電保管庫の設置、タブレット端末の配付（小学4年生から中学3年生までの児童生徒と教職員が対象）を順次行っており、8月下旬には全校で環境が整う予定です。パソコン室に限られていた、資料の検索や作成を、今後は各教室で行えるようになります。新しく入るソフトもありますが、まずは操作に慣れるために、教職員の皆さんと子どもたちにはタブレット端末に積極的に触れてもらいたいと思います。また、子どもたちが愛着をもって扱えるよう、学校では、子どもたちとタブレット端末との出会いをサポートしてまいります。学校では、9月からのタブレット端末使用に向けて、有効な活用方法を考えたり、機器の保管や扱い方の指導をしたりと準備しなければならないことが多くあります。事前に検討できることは早め早めに取り組み、スムーズに運用が開始できるよう努めてまいります。

夏休みが終わると、学習面では、小学校では前期課程のまとめの時期に入りますし、中学校では3年生の受験に向けての準備が本格化してきます。苦手を克服することも必要ですが、子どもたちの長所が活かされさらに伸びていくような前向きな指導に努めてまいります。さらに、文化祭や学習発表会、修学旅行などの大きな行事が多く学校の予定されています。昨年度は実施できなかった行事などに子どもたちは、大変期待を寄せていることでしょう。しかしながら、コロナの感染状況によっては、計画を変更せざるを得ない場合も十分考えられます。各園・学校においては、さまざまな状況を想定しながら入念な準備を行っており、子どもたちの期待に応えたいという思いの狭間で葛藤し、苦しい決断を迫られることも考えられますが、子どもたちの安全を第一に判断してまいります。

夏休み明けも子どもたちの変化を見逃さないよう、教職員はこの間に高めた資質・力量を遺憾なく発揮し、指導に生かしてまいりますので、引き続き、保護者や地域の皆様のご協力をお願いいたします。